

彙報 (平成三十年度)

身延山大学国際日蓮学研究所は平成三十年度において以下の活動を行った。

○平成三十年度 国際日蓮学研究所例会

【第一回】平成三十年五月三十一日(木)

パリ聖典における縁起説の文献学的研究
名和隆乾(大阪大学文学部教務補佐)

○第七十一回日蓮宗教学研究発表大会

第七十一回日蓮宗教学研究発表大会が平成三十年十一月九日(金)から十日(土)にかけて、日蓮宗宗務院にて開催された。

○大会役員

顧問	身延山学園理事長	持田貫宣
顧問	身延山大学長	浜島典彦
副会長	身延山大学仏教学部長	望月真澄
副会長	身延山大学国際日蓮学研究所長	望月海慧
【個人発表】(当研究所関係者のみ)		
初期大乘経典の構成要素	岡田行弘	望月海慧
ディープンカラシュリージュニャーナと六字真言	望月海慧	望月海慧
身延文庫沿革史について	木村中一	桑名法晃
深草瑞光寺所蔵『宗祖一代本尊鏡』について	桑名法晃	渡邊寶陽
近代における教学振興の足跡について	渡邊寶陽	

吉蔵の法華経解釈について

中井本勝

○ラオス世界遺産修復プロジェクト

一、期 間…平成三十一年二月十六日～三月十一日
二、場 所…ラオス人民民主共和国ルアンパバーン世界遺産
地域

《日本側》十三名

参加者名

所属

浜島 典彦	身延山大学長
望月 海慧	国際日蓮学研究所長・身延山大学教授
柳本 伊左雄	身延山大学特任教授
ジル・エマ・ストロースマン	身延山大学特任講師
鈴木 義孝	国際日蓮学研究所研究員
岡村 達人	国際日蓮学研究所研究生 他

《ラオス側》十四名

参加者名

所属

シンテーク	情報文化観光省美術工芸局 課長
ニークン	情報文化観光省美術工芸局 技官
ソンブン	情報文化観光省支所 技官
シートン	国立美術工芸大学 木彫講師
スワンカム	国立美術工芸大学 陶芸講師
ソムチャイ	国立美術工芸大学 絵画講師
パイワン	国立美術工芸大学 木彫講師 他

三、活動内容

a) 仏像修復事業

・木彫仏二体

- ・ 鑄造仏三体
- ・ 塑像仏一体 他
- b) 仏像修復技術者育成事業
 - ・ 国立美術工芸大学、情報文化省美術工芸局技官、県国立美術工芸学校、及国立王宮博物館の講師・技官・研究員を対象に仏像修復技術指導を行う。
- c) 仏像安置状況及盗難仏調査
 - ・ 世界遺産地域内全三十五ヶ寺を対象に、仏像目録（二〇〇六年本事業作成）を基として、現在の安置状況や盗難仏の有無等、追跡調査を行う。
- d) 仏像修復技法に関する調査・研究
 - ・ パタイペットの制作方法・材料の調査研究
 - ・ シェンクワン県ワットピアット寺院に現存するパタイペット仏の調査
 - ・ 鑄造技術研究・調査
- e) 仏像修復研究交流
 - ・ 本プロジェクト担当の柳本伊左雄特任教授、ジル・エマ・ストロースマン特任講師は今回、フランス国立極東学院（略称 EFEO）教授 ピーター・スキリング博士を訪問。本プロジェクトの概要を紹介し、本プロジェクトへの理解と助言を求めた。

回の訪問にはピーター・スキリング博士と共に、タイの著名な碑文学者であるカンニカ・ヴィモルケセム博士とサントイ・パクディカム博士が同席され、柳本教授・ジル講師の紹介内容に大変興味を示され、本プロジェクトに対し助言を約束された。

国際日蓮学研究所役職員（平成三十年度）

顧問	岩田諦静、上田本昌、高橋堯昭、長澤市郎、宮川了篤、望月海淑、山田英美
所長	望月海慧
主任	木村中一
副主任	檜木博之
所員	池上要靖、伊東久美、金 炳坤、田沼 朗、長又高夫、浜島典彦、間宮啓壬、三輪是法、望月真澄
客員所員	岡田行弘、岡田真水、加賀美尤祥、北村愛子、桑名貫正、小谷みどり、庄司史生、鈴木隆泰、武見敬三、寺尾英智、名和隆乾、福士慈稔、柳本伊左雄、吉田永正、渡邊寶陽、Jonathan Alan Silk、金 天鶴、Lucia Dora Dolce、Jaqueline Ilyse Stone
研究員	片山由美、木村良勢、黒澤あゆみ、佐々木さち子、鈴木 稔、都守基一、富山美由紀、中井本勝、永利郁乃、中野一茂、西 康友、林 是恭、槇殿伴子、村瀬正光、望月香代、GIGLIO Emanuele Davide、Jill Emma Strotman

研究生 池田優季名、岡村達人、鈴木義孝、宮坂葉子、

森田信宏、依田 司

○研究所員による海外研究発表・講演など（主要仏教関係のみ）

○平成三十年八月三十一日～九月一日

三輪是法…「日蓮学入門」（マレーシア、クアラルンプール感応寺）

○平成三十年九月二日

三輪是法…「日蓮学入門」（シンガポール、題目寺）

○平成三十一年二月十九～二十一日

木村中一…東国大学校、他（大韓民国）

○平成三十一年二月二十三～二十四日

三輪是法…「仏教入門」（インドネシア、バリ島）

○平成三十一年三月二日～三日（予定）

三輪是法…「宗学概論」（マレーシア、ペナン島一念寺）

○研究所学術交流・学術交流

本研究所では現在、大韓民国東国大学校仏教文化研究院及び大韓民国金剛大学校仏教文化研究所、大韓民国高麗大藏経研究所と学術交流を行っている。また本年度は『日蓮学』編集にあたり、『日蓮学』刊行会議」を平成三十一年二月十一日に開催した。本会議において『日蓮学』次号には「第七十回日蓮宗教教学研究発表大会」において記念講演を行われたジャクリン・ストーン教授（米国・プリンストン大学）に玉稿を、さらに本年度に引き続き、来年度も当研究所客員所員就任を依頼した。本回の機関誌刊

行会議では、本研究所がさらにグローバルな活動を行うために、ジャクリン・ストーン教授の協力が不可欠であるとともに、更なる学術交流活発化のために継続的な話し合いを行うことで意見の一致を見た。また当研究所研究員都守基一講師（身延山大学）にも引き続き「資料紹介」の執筆を依頼し、その内容に関する研究調査の開催を検討した。都守研究員には今後、木村中一研究所主任と調査内容と日程調整を行い、身延文庫内典籍調査（管轄・身延山久遠寺）を行うこと、身延山久遠寺に調査依頼を行うことで了承を得た。